

向日市報

まちのうごき

(2月1日現在)	(1月中)	
世帯数 16,628世帯	生まれた人 59人	
人口 52,246人	亡くなった人 25人	
男 25,691人	転入した人 148人	
女 26,555人	転出した人 163人	

市では、昭和54年から向日市史の編さんに取り組んできましたが、上巻の昭和58年3月発刊に続き、このたび下巻を近々発刊することになりました。今回発刊する下巻は、近世編、近現代編、地理・民俗編からなっています。

向日市史下巻を発刊



『向日市史』下巻

『向日市史』下巻は、上巻に続く近世から現在までの向日市の移り変わりなどを中心にまとめ、A5版九八ページ、布クロス装丁、製本ケース付き、口絵カラー二ページ、モノクロ八ページ、本文写真二七枚、図七七枚、表二二一枚で、総ページ約百枚を写真や図表にあて、わかりやすくまとめています。

『向日市史』は、上巻に引き続き今回発刊する下巻と史料編の三巻からなっています。史料編は、調査によって発見された文書などを、それぞれ紹介する予定です。

市史編さん事業は、昭和五十四年、市長ら六人で構成する「向日市史編さん委員会」を設置し、編さんの基本的な方針を取り決めたのに始まり、上田正昭(京都大学教授)委員長をはじめ十一名の委員からなる「向日市史専門委員会」を設けました。専門委員会ではさらに十九名の執筆委員を選任し、この合計三十名の専門委員と執筆委員が史料調査、執筆を担当しています。

▼向日市史専門委員(敬称略・五十音順・以下同じ)
熱田公(神戸大学教授)・池田敬正(京都府立大学教授)・上田正昭(京都大学教授)・浮田典良(京都大

生活の歩みを中心に網羅

三月十五日から会計課で一部三千八百円で頒布

『向日市史』下巻は、三二五九七三京都府向日市千部を印刷し、三月十五日から市民のみならず三千八百円で頒布します。

購入希望の方は、市役所一階の会計課窓口で代金と引き換えにお渡しします。また、郵便振替(京都七〇〇一〇〇一)内線276

▼お問い合わせ
向日市役所企画課(向日市寺戸町中野20) 電話931-1111

市史下巻の目次

序章 向日町から向日市へ	第一章 近世社会の成立	第二章 戦後の向日町
近世編	第一節 統一政権の登場	第一節 敗戦の混乱から安定へ
第一章 近世社会の出現	第二節 近世社会の出現	第二節 非常時より準戦時体制へ
第二章 近世社会の出現	第三節 近世の領土	第三節 日中戦争と向日町
第三章 近世社会の出現	第四節 近世村と村政	第四節 太平洋戦争と向日町
第四章 近世社会の出現	第五節 近世前期の生活と文化	第五節 戦後の向日町
第五章 近世社会の出現	第一節 近世中後期の向日地域	第一節 戦後の混乱から安定へ
第六章 近世社会の出現	第二節 街道と宿駅	第二節 戦後の混乱から安定へ
第七章 近世社会の出現	第三節 江戸時代の産業	第三節 戦後の混乱から安定へ
近現代編	第四節 水論と山論	第四節 戦後の混乱から安定へ
第一章 明治の新政	第五節 江戸時代の宗教	第五節 戦後の混乱から安定へ
第二章 明治前半の政治と行政	第六節 江戸時代の文化	第五節 戦後の混乱から安定へ
第三章 明治後半の政治と行政	第七節 天保前後の状況	第五節 戦後の混乱から安定へ
第四章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第五章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第六章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第七章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第八章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第九章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十一章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十二章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十三章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十四章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十五章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十六章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十七章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十八章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第十九章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十一章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十二章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十三章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十四章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十五章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十六章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十七章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十八章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第二十九章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十一章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十二章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十三章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十四章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十五章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十六章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十七章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十八章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第三十九章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十一章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十二章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十三章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十四章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十五章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十六章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十七章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十八章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第四十九章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ
第五十章 明治後半の政治と行政		第五節 戦後の混乱から安定へ

下巻へのいざない

(下巻序章より抜粋)

原始時代から戦国時代末期にいたる向日市域の歴史は、上巻でくわしく述べたところである。このあとをうけて、下巻は、永禄十一年(一五六八)九月の織田信長の上洛からはじまる。そして日本史全体の時代区分からいえば、織豊時代、江戸時代(近世ともいう)と、明治維新以後現在にいたる近・現代について、向日市域や周辺地域の人々の生活の歩みを中心とした歴史を述べる。

さらに地理民俗編では、自然と産業、市街地の拡大と人口など、現代の向日市域についての地理学的考察をおこない、ついで市域にのこされる寺社や民家の歴史的建造物を取りあげ、さらに歴史と

伝統のうちにはぐくまれてきた農家のくらしや、村々が伝えてきた芸能・祭り・踏行事などを考え、さらにこれらの歴史をふまえた新しい市民文化形成の途をさぐっている。大まかにいえば、上巻ははるか昔、とおもわれることを述べている。それだけに、古文書・古記録をはじめ各種資料を収集するために市民各位の

市民が日夜生活する現代と、そのすぐ前の時代のことを述べている。上巻では、考古学上のいくつもの遺跡、真経寺・向日神社などの寺社、などを除けば、われわれが身近に見聞できる記述はほとんどなかったといえる。それに対して、下巻は、五万余の市民が日夜生活する現代と、そのすぐ前の時代のことを述べている。上巻では、考古学上のいくつもの遺跡、真経寺・向日神社などの寺社、などを除けば、われわれが身近に見聞できる記述はほとんどなかったといえる。それに対して、

“郷土の川を美しく、”

川はかけがえのない私たちの大切な財産です。その町を流れる川の美しさによって人びとの自然を愛する心がはかれるといわれます。

今、川に美しい流れをとりもどすために、私たちひとりひとりの協力と川をきれいにする日ごろの心がけが、ぜひとも必要です。さあ！私たちの手で郷土の川をいつまでも美しく守りましょう。

■向日市 川を美しくする会 ■

